

## 6. 主な点検項目 (1) 平成27年度 of 取組み

### ② 歳入確保

番号	項目名	担当部局・室	取組内容	実績 (●は実施済、○は取組み中)
1	府有財産の活用と売却	財務部 財産活用課	・府民共通の財産として、今後の取組みを踏まえ、活用可能財産については積極的に売却・貸付を行う。	● 活用可能な府有財産について、年4回の入札を実施するなど積極的な売却・貸付を進めた。 27年度当初予算：33億円 27年度最終予算：42億円
2	使用料・手数料の点検	財務部 財政課	・フルコスト（直接的な経費のほか、人件費、維持管理費など）計算による原価を基本に、現行の料金水準の妥当性について、平成27年度中に一斉点検を行う。  ・これらの点検の内容、情勢の変化等を踏まえながら、料金水準の妥当性について検討を行う。	● 7月から9月にかけて一斉点検を実施し、2施設の使用料について、料金改定を行った。(H27年9月議会)  ○ 手数料は、新規13件、料金改定44件を設定予定。(H28年2月議会)
3	府税収入の確保	財務部 税務局	・今後さらに、市町村との新たなパートナーシップなどの観点からも、市町村と共同で徴収する仕組みとして、大阪府域地方税徴収機構（仮称）を平成27年4月に設置し、徴収向上方策を推進する。  ・府が自ら徴収する税目について、課税調査を適宜行うなどして適正な課税を推進する。	【徴収向上方策の推進】 ● 平成27年4月1日より府内27市町と大阪府域地方税徴収機構を設置し、3,844件（33.6億円）を引継ぐ。 【効果額実績見込み】 引継税額は33.6億円（当初比▲20%）も効果額（大阪府分）は2.7億円（当初比▲10%）以上を見込む。  【適正課税の推進】 ● 適正課税の実施に係る収入見込み額について、目標である18億円に対し、3月末実績（見込み）は31億円。
4	債権管理	財務部 税務局	・「大阪府債権の回収及び整理に関する条例」に基づき、適正な債権の回収及び整理を進める。	● 平成27年8月に平成27年度債権回収・整理計画を策定・公表し、この計画に基づき、債権の回収及び整理に積極的に取り組んだ。 ・平成27年度に繰り越した滞納額は243億円（府税含む） ⇒ 回収・整理により98億円（府税を含む）の圧縮を目標 【27年度計画】 目標額：回収7,981百万円／整理1,803百万円 ⇒ 進捗状況 10月31日現在、36億円を圧縮 処理額：回収3,229百万円／整理405百万円

6. 主な点検項目 (1) 平成27年度 of 取組み

②歳入確保

番号	項目名	担当部局・室	取組内容	実績 (●は実施済、○は取組み中)
5	課税自主権の活用	財務部 税務局  環境農林水産部 みどり推進室  府民文化部 都市魅力創造局	・歳入確保に向けたさまざまな取組みの中で、課税自主権の活用を行う場合は、「受益と負担」や「税収の使途」を踏まえ、検討を行う。	【森林環境税の導入】 ● H27年9月議会で「大阪府森林の有する公益的機能を維持増進するための環境の整備に係る個人の府民税の税率の特例に関する条例」を制定  【宿泊税の導入 (予定)】 ● H28年2月議会で条例案を提出 (予定)  【法人事業税・法人府民税に係る超過課税】 ● 法人府民税均等割に係る超過課税について、H28年3月末までとなっている期限を、H31年3月末まで延長する条例案をH28年2月議会で提出 (予定)  ● 法人事業税及び法人府民税法人税割に係る超過課税を実施 (H29年10月末までに終了する事業年度まで)